

近年、様々なインターネット接続機器の普及に伴い、SNS等の利用によるトラブルや犯罪被害の発生、長時間利用による生活リズムの乱れ等が問題となっている。今後、学校・社会全体のデジタル化が更に進展することが予想される中で、青少年やその保護者等がインターネット等を適切に活用できるようにする取組を推進する。

また、アルコール、薬物、ギャンブル等に関する依存症等について、青少年の健全育成を図る観点から、適切な理解に資する取組や、予防教育の実施を推進する。
【委託事業、平成16年度事業開始】

ネット上の有害環境から子供を守るための 推進体制の構築事業

【ネットモラルキャラバン隊】

- 都道府県PTA等と連携し、保護者を対象に全国各地で情報モラルやネットとのかかわり方、家庭でのルール作り等、インターネットトラブルやインターネット上の有害な情報から青少年を守るためのシンポジウムを開催。
- 全国的な取組としてフォーラムを開催。有識者によるトークセッションやパネルディスカッションを実施。各地域における成果を全国に発信。

- (1) 積算：①シンポジウム 4百万円 × 1団体
②フォーラム開催 1百万円
(2) 委託先：民間



【ネット対策地域モデル事業】

- 自治体等が実施する、情報モラルやメディアリテラシー等に係る啓発活動やシンポジウムの実施を支援

- (1) 積算：2百万円 × 2地域
(2) 委託先：民間、地方公共団体



青少年教育施設を活用した 生活習慣等改善推進事業

- インターネットの長時間利用等の要因で生活習慣が崩れている青少年を対象に、青少年教育施設を活用した自然体験や宿泊体験プログラムを実施。
- プログラム参加者の追跡調査等により効果を検証するとともに、参加前後の日常生活における対応も含めた系統的・体系的な取組を展開。

- (1) 積算：3百万円 × 2団体
(2) 委託先：民間、地方公共団体等



依存症予防教育推進事業

- 各地域において、アルコール、薬物、ギャンブル等への依存等を予防するための啓発講座「依存症予防教室」を開催。
- 全国的な啓発として「依存症の理解を深めるための普及啓発シンポジウム」を開催。

- (1) 積算：①シンポジウム 1百万円
②依存症予防教室 1百万円 × 5地域
(2) 委託先：民間、地方公共団体

